

イチゴ空中採苗に適した肥効調節型肥料の種類

福島県農業試験場野菜部

平成13年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－イチゴ－施肥法

分類コード 03-07-02130000

2 担当者

大越聡

3 要旨

- (1) イチゴ空中採苗法における親株の肥培管理法として、肥効調節型肥料を使用する場合は、70～100日型の肥効調節型肥料を株元に20g施用し、1日2回、各200ml灌水する方法が適当であった。
- (2) 子苗発生数は供試肥料によって差が認められ、微量要素を含む肥料の方が多かった。
- (3) 溶出型70日と100日では子苗発生数に差がなかった。
- (4) 供試品種「女峰」、4月上旬親株定植、7月中旬仮植の条件で試験した結果、これらの方法で得られた子苗数は親株あたり45株で、一般に土耕栽培で得られる子苗数と同等であった。また、この場合の窒素施用量は株あたり2.5gと推定された。
- (5) 栽培条件が異なる場合は施用量や溶出型を調整する必要がある。
- (6) 試験は閉鎖系のシステムを使用して実施しているため、かけ長し方式のシステムでは施肥量を増加する必要がある。
- (7) 供試肥料はN 13～14% 含む。

4 その他の資料等

なし